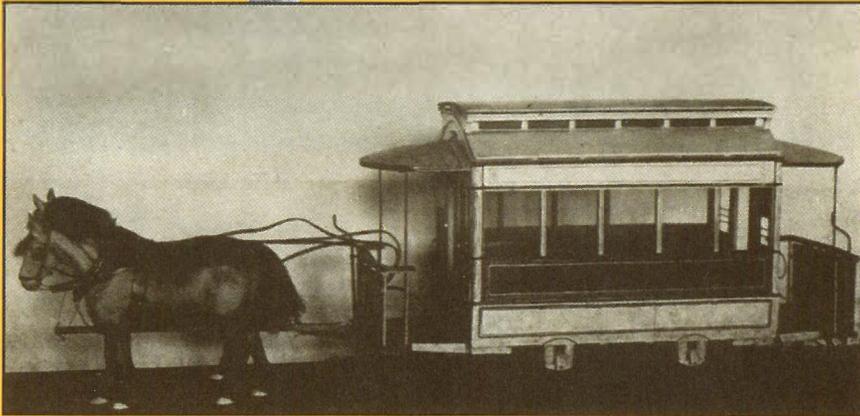
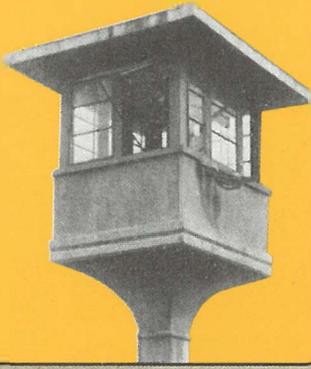


公営交通事業沿革史 〔戦前篇〕

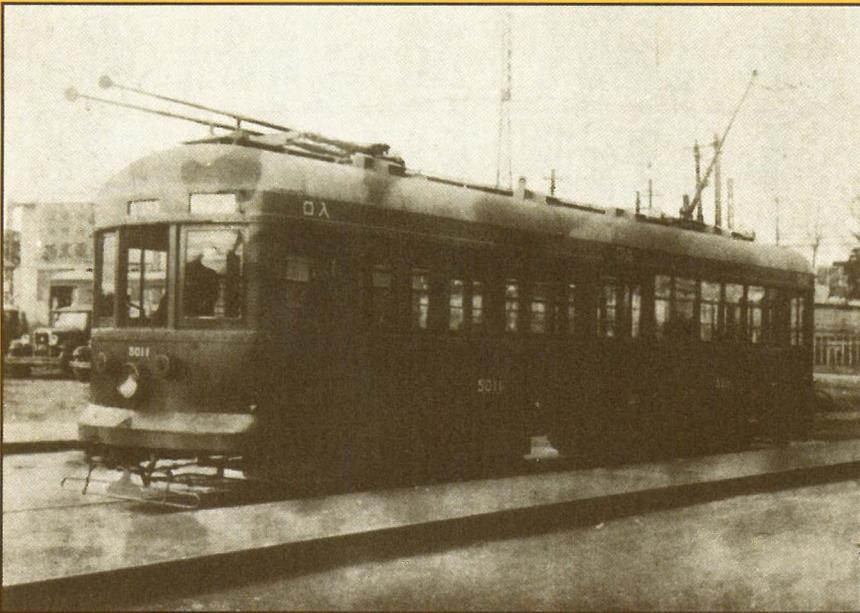
全10巻

大都市繁栄に欠かせなかつた公営交通の発達史を集成。

電気信号転輸操作塔



馬車鉄道

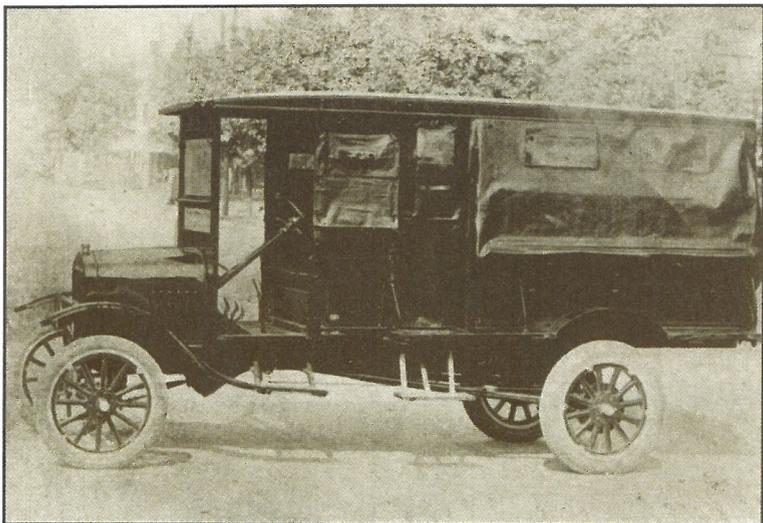


五千型ボギー車



クレス出版

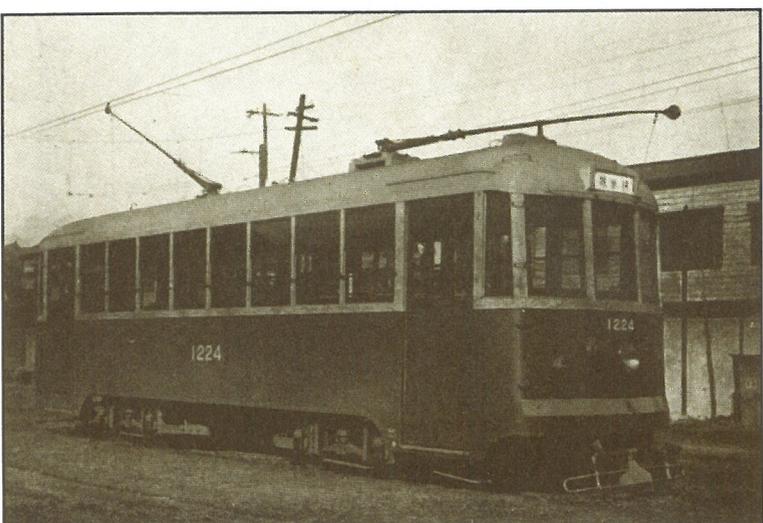
丁型フォード車(創業当時の自動車)



運輸部 千住自動車営業所(東京)



改造ボギー車



刊行にあたって

いわゆる六大都市である東京、大阪、横浜、名古屋、京都、神戸の都市内における路面軌道事業・バス事業を中心とする交通機関は戦前から稠密に展開していた。その嚆矢は、明治15年開業の東京馬車鉄道である。電気軌道は明治28年開業の京都電気鉄道に始まり、明治中期以降各都市に急速に普及してネットワークを形成した。路面軌道は各都市の都市計画の重要な一環であり、経営形態論が市政の重要問題としてながら議論され、いずれの都市でも、明治末年から大正にかけて公営化が実現し、または公営事業として開始された。バス事業についても経営形態論があったが、その実現の形態は各市で異なった。戦前期の公営交通事業者は交通事業と電燈電力供給事業を経営の両輪とした点で現在と異なり、「電気局」と称した。路面電車が市内交通の中心であった時代、「市電」「市バス」の経営を通じ、また民間電気事業者に伍した電気事業の展開によって、「電気局」は市民の日常生活に極めて密接した存在であった。電車運賃値上げが深刻な社会問題となり、これが公営化をみちびく要因となる事例がみられることから、市民生活と公営交通のかかわりがうかがわれる。

当社が今回復刻する「公営交通事業沿革史(戦前編)」は、東京、大阪、横浜、名古屋、京都、神戸の各市電気局が刊行した主要な沿革史の集成である。公営交通発達史においてキイとなる公営化過程についての刊行物も併せ収録した。この復刻集成により、ほぼ戦時交通統制が実施されるまでの各市の市内交通の発達史を総括することができる。これらの著作物は現在では入手が困難であり、また図書館等公共機関についても、まとめて所蔵するものは皆無で、利用者にとってはなはだ不便であった。当社の復刻は、交通問題・都市交通研究者のみならず、行政史、地方財政、都市工学、電気事業関係など広範な研究者の役にたてるものと信ずるものである。

なお、刊行に際し多大なご尽力をいただいた各都市の交通局の皆様へ深く感謝の意を表します。

公営交通事業沿革史(戦前編)全10巻構成

都市名	収録書名	巻数・規格・定価
1 東京市	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京市電気局十年略史(大正10年) ● 創業二十年史(昭和6年) ● 電気局三十年史(昭和15年) 	全2巻(A5判) 揃定価四四、二九〇円 (本体四三、〇〇〇円)
2 横浜市	<ul style="list-style-type: none"> ● 横浜市電気局事業誌(昭和15年) 	全1巻(A5判) 定価一五、四五〇円 (本体一五、〇〇〇円)
3 名古屋市	<ul style="list-style-type: none"> ● 電気軌道事業買収顛末(大正11年) ● 市営十年(昭和8年) ● 市営十五年(昭和12年) 	全1巻(A5判) 定価一六、四八〇円 (本体一六、〇〇〇円)
4 京都市	<ul style="list-style-type: none"> ● 京都市営電気事業沿革誌(昭和8年) ● 市バス十周年(昭和13年) 	全2巻(A5判) 揃定価四三、二六〇円 (本体四二、〇〇〇円)
5 大阪市	<ul style="list-style-type: none"> ● 大阪市営電気軌道沿革史(大正12年) ● 大阪市電気局四十年史(昭和18年) 	全2巻(A5判、B5判) 揃定価三九、一四〇円 (本体三八、〇〇〇円)
6 神戸市	<ul style="list-style-type: none"> ● 神戸市電気事業買収顛末(大正7年) ● 十年間の神戸市電気事業(昭和3年) ● 市営二十年史(昭和13年) ● 市営バス十年(昭和15年) 	全2巻(A5判、B5判) 揃定価三二、九六〇円 (本体三二、〇〇〇円)

内容抄載

東京市電気局三十年史 目次より

第一章 局創設

第一節 市営以前の帝都交通事業

(馬車鉄道の創始、電気鉄道の創始)

第二節 買収顛末

(都市交通事業市有説、買収交渉の経過、
電気局設立)

第三節 市営前の電気供給事業

第三章 電気軌道事業

第一節 概説

(市営後の概況、帝都交通事業に於ける
地位の変遷、財政)

第二節 設備

第三節 運輸成績附交通調査実績

第四節 料金制度

第五節 従業員

第六節 高速鉄道及無軌條電車

第四章 乗合自動車事業

第五章 電気供給事業

第一節 概説

第二節 電力購入沿革

第三節 電力自給計画

第四節 供給区域

第五節 設備附送電及配電の沿革

第九章 震災及復旧事業

第十二章 交通調整

公営交通事業沿革史(戦前篇)全10巻刊行予定

東京市(全2巻) 横浜市(全1巻) 名古屋市(全1巻)

平成2年7月25日刊 揃定価七六、二二〇円

(本体七四、〇〇〇円)

京都市(全2巻) 大阪市(全2巻) 神戸市(全2巻)

平成2年12月20日刊 揃定価一一五、三六〇円

(本体一一二、〇〇〇円)

運輸五十年史

全三巻／運輸五十年史編纂局編

近代的な交通機関を代表する鉄道が開設五十年をむかえたことを記念し刊行されたもの。鉄道は国有、地方鉄道を詳細に、その他海運、道路及水運、新時代の交通機関飛行機、自動車、燃料及動力として石油、石炭、水力電気等広範な情報資料を集めた貴重書。 B5判／総一、七六八頁、写真多数／揃定価四六、三五〇円(税込)

好評既刊書

鉄道技術発達史

全七巻・別巻二／日本国有鉄道編

鉄道八十周年の記念事業として日本国有鉄道技術研究所が昭和三十三年より編集刊行したもの。系統的(施設、電気、車輛と機械、運転、船舶、研究)に編集された数少ない通史的著作物。新幹線の開業前の計画等も詳細に収められている近代史等の好資料 B5判・B4判／総約五、四〇〇頁／揃定価二〇六、〇〇〇円(税込)

●発行

〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5
☎03(808)1821 FAX 03(808)1822

●書店名

株式会社 クレス出版